

コミスクみどり

令和6年7月発行
伊丹市立緑丘小学校
学校運営協議会
会長 林 幹郎

「第1回学校運営協議会」が開催されました

6月18日(火) 緑丘小学校多目的室にて、
第1回学校運営協議会が開催されました。
本校の学校運営協議会は、令和元(2018)年度
から実施されており、今年度で6年目となります。

「学校運営協議会」って
なあに？



第1回目は、「学校の状況」「令和6年度
学校経営方針」「令和5年度学校評価総括表」
「今年度の予定」についての説明と協議、授業参観をしました。
協議では、「学校と地域における居場所作り」が議題となりました。

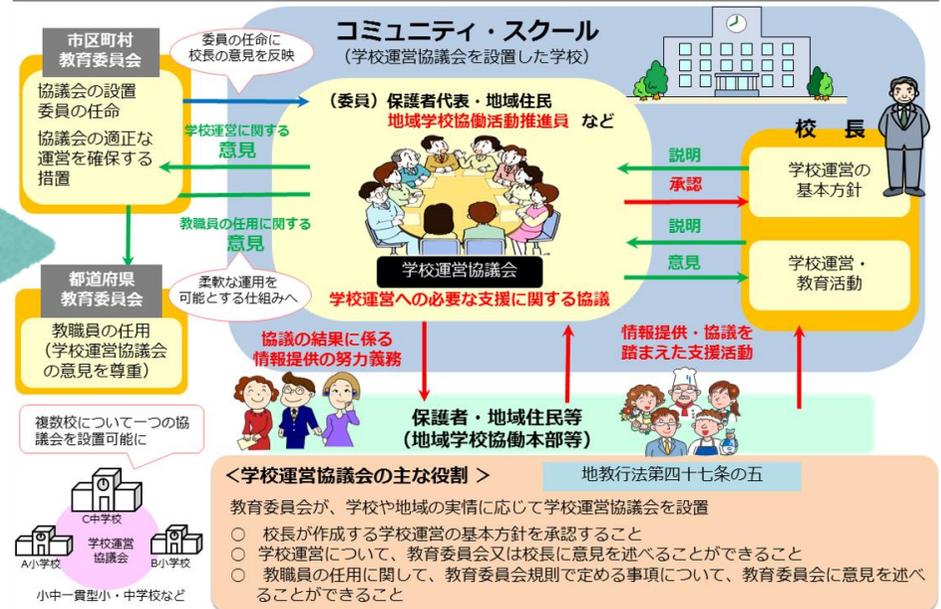
令和6年度学校運営協議会のみなさんです

会長	林 幹郎 (SC21みどり会長)
副会長	谷口 和幸 (PTA会長)
委員	桑岡 邦裕 (民生・児童委員)
	中村 和年 (下河原地区自治会長)
	秋山 勝敏 (自治協議会会長)
	山本 哲郎 (土曜学習コーディネーター)
	井村 正明 (みどりOTON-A会代表)
	武田 伸晃 (子ども食堂運営代表)
	林田 佳子 (東中学校教頭)
	徳田 達郎 (緑丘小学校教頭)
CSディレクター	元川 菜月美

コミュニティ・スクールとは

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の仕組み



【出典】文部科学省、コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/community/

学校運営協議会委員の皆さんからのご質問

【Q】地域が学校に参入することを先生方はどのように考えていますか？

【A】教職員に「地域には学校の応援団になってくださる方がおられる」と伝えています。

★地域の支援員の顔と名前を覚えてもらうための工夫★

毎朝職員が押印する出勤簿のそばに、「支援員の顔写真・名前」を掲示したり、「いつ来られるか」を確認できるカレンダーを掲示したりしています。

★守秘義務遵守の徹底★

支援員には誓約書の署名が義務づけられています。